

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.138

## a taste of Ya'ssy

### 田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。「文藝」(河出書房新社)2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



## “21世紀型既得権益”の不条理とは 対極の“市場人間主義”としての温性

### 今週の逸品



### 特上ホッケ焼 1980円 半身1000円

もともとは経営の魚屋。業務卸も手掛け、30年前に下北沢で開店。吉祥寺も含め都内に10店舗を展開。居酒屋を標榜するも料理の鮮度と味付の高さは凡百の料理店を遙かに凌駕。内装は各店異なるも、乃木坂店の臨場感は卓越。日本酒も豊富な品揃え。ワイン等の飲料の持ち込みも可。梅軟骨400円、えいひれ炙り680円等、酒肴も充実。加えてベトナム併可。入口カウンターで立ち喰いも可能な寿司は握りの塩梅も上等。

【魚真 乃木坂店】東京都港区赤坂9-6-32 ☎03-3405-0411 (営)月~土17:00~24:00(LO23:00)、日・祭16:00~23:00(LO22:00) 完全分煙 ベトナム併可 ワイン持ち込み可 予約必須 <http://www.uoshins.com/>

illustration by Hajime Anzai



インド洋の暖流と大西洋の寒流が沖合で交わるケープタウンは、遠洋マグロ延縄漁船が立ち寄る港町として知られます。「和食を供する華僑系の料理店で日本からの漁船員の間々とお会い、握りの緩い寿司を頬張りました。ソウエト峰起から丁度10年目に当たる1986年3月、アパルトヘイト存続下の南アフリカへ写真家の立木義浩氏と出掛けた28年前の想い出です。而して2006年9月、長靴型したイタリア半島の踵に当たるブ

ーリア州では生魚を食すと聞き、W嬢と勇躍乗り込みました。レンゾ・ピアーノ設計の巨大な蹴球競技場で有名な州都パトリ郊外の浜沿い街トッレ・アマールレの知る人ぞ知る料理店。日本から持参した卓上醤油瓶とワサビのチューブを取り出し蛸や海老を味わい、本誌連載「東京ペログリ日記」に写真入りで紹介しました。アドリア海の新鮮な魚介類。オリブ、アーティチョーク、トマトや赤玉葱と豊富な季節野菜。更に侮り難きワイン生産地として耳

目を集めるブーリアは、首都ロームの胃袋を満たす供給地。加えてこの10年余り、富裕層向け保養地としても地歩を固めています。南イタリアに於ける地域雇用創出の御旗を掲げ、新規参入者への補助制度や税制優遇を政府やEUが実施。元氣な高齢者が日本から訪れるアルペロベツコのみがブーリア根したトゥルツリのみがブーリアの魅力では最早ないのです。が、豈にらんや、いえいえ、予想通り北部ミラノや英独等の資本が瀟洒な宿泊施設を運営し、雇用

されるのも語学が達者な他地域出身者。地元で驚かれたのは清掃等の労働に留まります。市場万能主義Ⅱ私益資本主義が新手の21世紀型既得権益を生み出す不条理が、ここにも存在するのです。「魚真」乃木坂店は、斯くなる不条理とは対極の「市場人間主義」としての温性を感じさせる逸軒。乃木希典の自刃後に幽霊坂から改名された坂道を上がりきった外苑東通りとの交差点脇。嘗てはガソリンスタンドだった変形三角地帯に出現の、恰も二階建て海の家を想起させる佇まいです。麦酒箱の上に座布団を括り付けた椅子。技術・家庭の授業で中学生が工作したかと思ふ木製机。ビニールシートの「紙帳」も夏季には捲り上げられ、先ずは生ビールの世界です。併せて是非とも680円の絶品キャベツサラダを。日替わりの品書きは途惑う程に豊富。初回なら2人前1500円の刺身盛り合わせを頼み、1人前980円のお任せ六貫寿司でやるのが定石。無論その間に480円の柳葉魚焼、380円のゴボウ電田揚げ辺りを。注文時に尋ねたら更に推奨の品々を誦んじるでしょう。鯛を筆頭に各種一本物の塩焼・煮付も千円台。僕が必ず摂るのは写真の特上ホッケ焼1980円。近接の「丘やら街やら」を回遊後の晚餐場所として2人でも集団でも愉しめる握り出し物の時空です。